

会 議 議 事 録

1 会議名	令和2年度長岡市市民協働推進審議会
2 開催日時	令和3年2月22日（月曜日） 午後1時30分から午後3時まで
3 開催場所	Zoomによるweb会議 (事務局：アオーレ長岡東棟3階 301会議室)
4 出席者名	(委員) 板垣委員 上村委員 佐竹委員 田中委員 土田委員 山村委員 渡辺委員 綿貫委員 (事務局) 市民協働推進部 竹内部長 川合市民協働課長 恩田市民協働課長補佐 勝沼係長 小林係長 嶋谷係長 中村主査 半間主事 海津主事
5 欠席者名	恩田委員 星野委員
6 議題	(1) ウイルスにまけない！～今こそ協働の力で乗り越えよう～ (2) 令和2年度未来を創る市民活動応援補助金、新型コロナウイルス感染症にまけない奨励金の実績 (3) 新型コロナウイルスに関するアンケート結果 (4) with・after コロナの時代に～市民活動を全力で応援～
7 審議結果の概要	・議題(1)～(4)について、事務局より説明があり、委員による意見交換が行われた。
8 審議の内容	
事務局	1 開会 (市民協働推進部長あいさつ) (委員自己紹介) 2 議事 (1) ありがとうございます。以後の進行については、審議会規則の規定により、会長からお願いします。
会長	それでは議事の(1)から(3)についてを一括して事務局より説明

事務局	<p>をお願いします。</p> <p>(資料1、2、3に基づき説明)</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今年は件数ベースでは3分の1しかやっていないし、予算も随分残していますが、こういう状況ですので正直なところ、良し悪しは言えないですね。むしろよく頑張ったと思って見ています。ビジョンの方向性から大きく逸脱しているとも思いませんし、今やれることを皆さんで最大限頑張っていたらと思っています。</p> <p>ご質問、ご意見がありましたら、お願いします。</p>
委員	<p>アンケートは非常によく取られていると思いますが、6番の「現在の支援制度」の所で10月に取ったものと12月に取ったもので「不足だ」という回答が倍くらいに増えています。何をもってこの回答なのかは様々だと思いますが、こんな意見があるというところをもう少し掘り下げると支援制度に結び付くと感じました。</p>
会長	<p>事務局でしっかり読み解いてその結果を来年度の補助金等にうまく反映していただきたいと思います。</p>
委員	<p>アンケートの1番、活動状況の所ももう少し掘り下げていただきたいと思います。この活動はリアルに人を集めたのか、オンラインだったのか、またメンバー間の会議はやったのかというのを知りたいです。</p> <p>さらにメンバー間の会議ではしっかりコミュニケーションが取れていたのか、これが取れていないと事業に結び付かないと思いますので。またその会議の仕方もオンラインなのかSNSなのか電話なのかメールなのか対面なのか、などでITリテラシーがわかると思いますし、今後の支援策を考えるデータになると感じています。</p>
会長	<p>10月にウイルスの関係で活動休止中だった8件が12月には3件まで減っていて、もしかするとウイズコロナに適応できたのかもしれないですね。だとしたらどう適応したのかも興味深いですね。コロナがあってもある程度活動を継続するためのコミュニケーションの体制が取れるようになったとか、活動そのものも少し形を変えてやれるようになったのかとか、その辺りも読み解きたいですね。</p>
委員	<p>資料1の中越市民防災安全士会女性部の皆さんの活動は、これからさ</p>

<p>会長</p>	<p>らに必要だなと感じています。災害時の避難については随分言われているし研究もされていますけど、意外に一般の人は実際にどうしたらいいかはわからないんじゃないかと。コロナ禍で人と人の接触が難しい状況ではありますが、こういった活動がうまく伝わるといいなと感じました。自分もNPO活動をしている中で何ができるかと考えた時に参考になると感心しています。</p> <p>また資料3で皆さんも言われていましたが、支援制度はNPO法人にとっては重要な位置づけのもので、自分たちの活動もよく見直したうえでどんな支援が必要なのか考えたいと改めて感じました。</p> <p>防災に関しては、今年度も水害や地震と起こりましたね。その状況になると慌てるものですが、普段から備えたり実践したりが大切ですから、こうした活動は重要だと感じています。</p>
<p>委員</p>	<p>アンケートに関しては他の方もおっしゃっているように、結果をどう捉えていくかと、継続して実施していくことが本当に大事だと思います。長期的に見て数字がどう変化していくかは、様々なことを読み取るうえで手掛かりになると思います。</p> <p>それからアンケート5の今後の見通しの所で、2回目の方で「コロナウイルスの状況により縮小」と51法人中10法人が答えていますが具体的ななぜ縮小せざるを得なかったのかが明確になると、また違った支援やサポートの在り方が見えてくるのではないかと感じました。</p>
<p>会長</p>	<p>1回目の14件が10件に減ったとも読み解けますよね。何が起きたのかも興味深いところだと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>資料3の6で、支援制度についてわからない所が半分を占めていることと、5の今後の見通しで変わらず継続できると多くが答えていますが、安心していい内容なのかというところですよ。</p> <p>私たちのNPO法人でも、飲食店さんへの支援の輪を広げるためテイクアウト用の受発注システムをアプリで作ったり、お弁当をアオーレや花火館で売れるキッチンカーを作ったりしているんですが、やっぱりわからないとか、そこまでやらなくてもいいとか、結構温度差があるんですよ。アンケートの中の支援金制度についても、本当に知らない方が結構いらっしゃるんじゃないかと。その中にはそれほど困っていないからそこまでの情報を取りに行かないとか、興味が無いという方もいらっしゃるんですけど、実際にお声がけして一緒に活動してみると、こんなに良かったんだと気づいていただけた実績が何件かありました。で</p>

<p>会長</p>	<p>すので、PRや広報を工夫していただいて、こういう補助金があってこういう実績があるよということを伝える手法があるといいと感じています。</p> <p>円グラフを見ると80%がポジティブに答えているように捉えてしまっていますが、「わからない」と答えている法人が半分あります。この「わからない」の意味が重要ですね。内訳として興味がない「わからない」もあるだろうし、諦めて「わからない」もあるかもしれないし、少し丁寧に見ていく必要がありますね。実は本当に情報がなくて「わからない」のであれば情報を届ける工夫が必要になるでしょうし、困っているんだけどどうしようもないところもあるかもしれないし、読み取れる範囲で読み取っていただいて、大切なことは次年度に向けてのフィードバックすべき情報を捉えることですから、しっかり取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>それと広報の部分で、「市民活動を応援する」という市の予算も体制も十分にあるけれども、これらが本当に支援を受けたい方に届いているのかということは長年の懸案です。以前より遥かに認知されていると思いますが、まだまだ潜在的には市民生活の中で産業や行政でカバーしにくい部分、そういうセクターで本当にどうしていいかわからないでいる市民団体はいっぱいあると思うし、市民活動としての伸びしろが大いにあると感じています。ですので引き続き広報は、色々と皆さんで知恵を出し合ってやっていかなければいけないなと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>商工会議所でもコロナ緊急対策事業として、これまでの経験上無い位大規模に地域の消費喚起に取り組んできました。どの程度効果があったかはっきりわかるのはこれからかもしれませんが、皆さんおっしゃっているように、届くべき所に届くよう、知恵を出し合って広報に努めていきたいと考えています。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。それでは議題の(4) with・after コロナウイルスの時代に～市民活動を全力で応援～について事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(資料4に基づき説明)</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。市民が主体的に活動することは、人生の充実度とか満足度とか、地域に対する誇りとか、本当に大事なことを包含していると感じています。ですのでコロナを言い訳にせずに、むしろコ</p>

	<p>ロナを契機にしながらより一層の市民活動の活性化を目指していきたいと思っています。事務局として来年度の方針と内容について資料4のご説明をいただきました。ここに関して、忌憚のないご意見をいただきたいと思っています。</p>
委員	<p>従来の未来共創補助金と、コロナ対応枠の明確な違いを教えてください。with・after コロナとありますが、今後はどの取り組みにも必然的にそれは含まれると思っておりまして、この違いを整理してお聞かせいただければと思います。例えばお金の使い道が違うとか、従来の補助金プラスコロナ対応に必要な何か別にかかる費用に使えるのかなど。</p>
事務局	<p>従来の未来共創補助金は、ある程度何か事業を行うところに対しての補助という側面が強かったんですが今回のコロナ枠に関してはNPO法人等の団体がコロナ禍で活動を続けていくときに設備等で必要となってくる部分に対して、従来ではご遠慮いただいていましたが、市民にとってどうしても必要な活動であればそうした通常経費にも出せる補助金を今考えております。</p>
会長	<p>枠として分けるというよりは、支出の要件を緩めるというイメージですね。ちなみに今年あった新型コロナウイルス感染症にまけない奨励金はなくなるんですか。</p>
事務局	<p>こちらは町内会を初め各市民活動団体さんがある程度活動を再開できたということで来年度はなくなります。それに代わるというか引き継ぐ部分として、今回コロナ枠を入れさせていただきました。</p>
会長	<p>今年度の緊急的対応だった奨励金がなくなって、市民活動応援補助金の中でコロナ対応についてはみていくということですね。対応枠という表現が若干誤解を招くかもしれませんが、そこは柔軟に予算の中でみていくということですね。</p>
委員	<p>With・after コロナというのが一番に出っていますが、今まで活動していたのにできなかった団体はかなりあったと思います。市民活動では今までやってきたことをこれを機に一度見直してリセットすることも必要かもしれませんが、やっぱり継続が大事でそのためには同じことをするにもそれなりの費用がかかります。そういう部分で、一つには、コロナ対策に対する補助だけでなくもともとあった活動を継続するための補助をいただけないか。もう一つは今日もzoomで会議をしています、</p>

<p>会長</p>	<p>やっぱり人数が増えてくると費用もかかりますのでそこへの支援や、あるいはデジタルとリアルを組み合わせたコミュニケーションの取り方を指導してもらえたりとか、設備だけでなくそういう部分も応援してもらえるといいなと思います。</p> <p>これはぜひ反映していただきたいですね。コロナウイルス対策のための予算というところは柔軟に見ていただきつつ、これをきっかけに活動の見直しを図って新しい形でのリスタートを切るとか、ここで経験したことを踏まえてよりバージョンアップ、ステップアップした活動に対して力強く応援していただきたいですね。</p> <p>またリモート相談については、リモートでの相談業務は当然として、リモート導入の支援などもやっていただけると、苦手な団体もこの活動をあきらめなくていいとかメンバー間のコミュニケーションが広まるとか出てくると思います。さらには県境や国境を越えて市民活動の世界ネットを作るなんていうのも面白いです。同じミッションを掲げて頑張っている遠くの団体とつながったとか、垣根を越えて広がったという話があってもいいと思うんですよね。</p>
<p>委員</p>	<p>本当にそう思います。協働の輪が外に広がる一つの方法論かもしれないですね。</p>
<p>会長</p>	<p>素晴らしいですね。長岡市のことを長岡市の中だけで長岡市の人だけで解決する必要は全くなくて、色々な地域で色々なことを困ったり悩んだりあるいはもうチャレンジしたりっていう方が日本中に世界中にいますので、そんな方とつながったり、長岡市がどんどん支援するなんていう話が出てくるとワクワクしますよね。</p>
<p>委員</p>	<p>審査会を毎月開催ということも、そのくらい申請が出てくる見込みということでしょうから素晴らしいと思います。</p> <p>市民活動というと余裕のある人がやるように思いがちなんですけれど、もう少し認知されていくと面白いかなと思います。長岡市だけではどうにもならない問題、最近だと例えば鳥獣被害など、市の予算や人材だけではどうにもならない、業者もなかなかその分野の人がいないというような課題をもっと公にして、そうした課題に取り組む市民活動に補助をしてステップアップしてもらい起業につなげたりできるといいと感じています。</p>
<p>会長</p>	<p>この辺の議論は何年も前からやっていますね。市民活動がボランティア</p>

	<p>一なスタートで全然構わないんですけど、持続したり社会課題の解決法として素晴らしいアクティビティとして育っていくならば、本来は産業になってしかるべきなんです。正当な対価をしかるべきところからいただいて、持続的に仕事として続けられるように発展していくというのは、市民活動の出口戦略の一つとして素晴らしいことです。社会課題を見つけた、それに対してボランタリーに活動を始めた、思いがけずすごいマーケットだと気づく、それで産業が起きた結果、市にとどまらずあちこちから引き合いがでて…という流れはとてもいいことだと思いますね。ですからこの審議会に企業関係の方がいらっしゃるのは本当に大きなことだと思っていて、市民活動に産業としての可能性を見出して応援していただけるととてもいいですよ。今すぐどうやったらいいか答えが出しにくいのですが産業界とどう結び付けていくか、あるいは市民活動を持続可能な産業へとどう育てていくか、継続して議論していきましょう。</p>
事務局	<p>長岡市としても、委員がおっしゃったような市だけではどうにもならない社会課題について、商工部が起業の面で支援をして解決していこうという動きはあります。市民活動自体がその入り口になるのも十分考えられますしそうになっていかなければならないと考えています。市の内部で垣根を越えた連絡体制や情報共有などで解決できる部分もあると思いますので、皆様からご意見をいただきながら進めていきたいと考えております。</p>
会長	<p>市民協働推進部は横串の部署だと思っていますので、ぜひ各部署とつながっていただいて様々な情報とお金をつないで、気付いたら市民活動が大きな産業になっていくくらいの話に盛り上げていきましょう。</p>
委員	<p>協働センターから、私の所属するNPO法人に専門家の派遣を受けてプライバシーポリシーや個人情報の保護方針を作らないかというお話をいただきました。今人を集めて大きな事業を行うのがなかなかできない状況ですが、この時期を利用して組織内の業務の改革を行うにはいいチャンスだと思っています。NPO法人は定款は持っていますがこういった内部の規程は無いところが多いと思うので、それを充実する時期にするといいと考えます。そういう部分を応援していただきたいと思います。</p>
会長	<p>NPO法人はそんなに専従スタッフを置けない中でプライバシーポリシー、個人情報保護、コンプライアンス、ガバナンスなど複雑なルールに則るのはなかなか大変ですよ。</p> <p>例えば協働センターで年間プログラムでこうしたことを一通り学べる</p>

	<p>オンラインセミナーを開催して、ひな形を提供するのもいいかと思いません。ホームページを持っている団体はセキュリティも気を付ける必要がありますよね。データの暗号化ということでSSL化は企業では皆やっていますが、任意団体ではしていないところもあるかもしれないので、その辺りを応援していただくとありがたいです。市民協働センターで、長岡の市民活動のためのプラットフォームを作ってもらえるのも良いかもしれません。専門家のアドバイスが必要で予算もかかる話ですが、きちんとしたセキュリティレベルを保证するサーバーやホームページの運用サービスを提供していく、このような部分をサポートしていただくと団体の基礎体力の強化につながるし、これからとても大事になってくると思います。</p> <p>脆弱なNPO法人の経営基盤を、現代の一般的なルールに適合させる支援や、それを上手くアウトソーシングする支援や、デジタルを活用したNPO活動の活性化や、新しい形のコミュニケーションの支援や、こうしたものを新年度の事業として力を入れるとよいかもしれませんね。</p> <p>委員のおっしゃった組織の基盤強化は必要なことだと考えています。そのノウハウ・やり方も協働センターと共有しながら、検討していきたいと思います。来年度の事業として実施できるかどうかとも相談しながら検討していきたいと考えています。</p>
事務局	
会長	<p>審議会のメンバーに専門家もいますので、予算の関係もあるかと思いますが検討いただければと思います。</p>
委員	<p>今のお話は興味深く、NPO法人は確かにそういう部分は弱くて、今リモートなどが急速に進んでそれに対応したいけれど資金的にもノウハウ的にも厳しいので、そういったプラットフォームや様々な支援があればありがたいと感じます。</p> <p>それから他県にも同じような活動をしていたりアイデアを沢山持っている団体がありますので、ホームページなどでデータを調べることもできますが、リモートでも実際に話を聞いたり提供したりすればいいんだなという部分が新たな気づきでした。</p>
委員	<p>NPO活動、市民活動が経済、産業につながるという話が先ほどありましたが、そこが悩みどころでもあります。長岡で「市民協働」という言葉が生まれたのが中越地震の頃で、救助・救済からスタートして復旧から復興があつて経済活性化と順番に進んできました。その中で市民と行政と色々な所で一緒に活動をしていこうというのが市民協働だったと</p>

	<p>思います。確かにあの時点で産業が若干動き、復旧の業界やそれに伴い人が集まりお金が生み出されましたが、徐々に復旧・復興して平常に戻ってくると段々なくなってきて、今は落ち着いてきました。今回のコロナに関して、確かに産業につなげる可能性はあるし様々な業界にとって方向ややり方を変えるチャンスではあります。そこに対してNPO活動がきっかけになったり何かできることがあるといいなと思います。</p> <p>直接商売につながるNPO活動というのはそうそうないんですけど、自分たちのNPO活動からしてみると最終目的は子ども達がずっと住み続けられるまちで、それはやっぱり産業や経済につながってくると思っています。この先、本当の意味でのアフターコロナウイルスの部分で、皆さんと情報交換しながらヒントをもらいつつ共有しつつ何か考えられる場があるといいかなと思います。</p>
会長	<p>本当にそうですね。市民活動は何となくでなくかなり真剣にやらないとなかなかお金にはならないですよ。NPO中心で活動しているとお金を稼ぐという概念をあまり持たないんですが、産業界の方はどうやったら利益や従業員の雇用につながるのかを常に考えていますから、その辺りのセンスがぶつかり合い「もしかしたらこれが商売になるかも」という交流ができるといいですね。違う立場の人たちが上手く交じり合って新しい商売の芽が出るといいなと感じています。</p>
委員	<p>皆さんおっしゃっているとおりで、いかに色々な立場の人たちが関わり、助け合いながら話し合っていくことが重要だと感じています。</p>
委員	<p>一つ、市民協働を進めるうえで載せてほしい視点としてSDGsがあります。長岡市はあまりそこをうたっていないんですが、そろそろ入れてほしいなど。団体が活動するとき目標値を定めると大変になるので、例えば17の目標のここに当てはまる活動だというふうに表明していただくだけでも、長岡の市民活動はSDGsの視点が入って活性化しているねという風土につながるかなと感じています。</p>
会長	<p>SDGsは国が進める大方針ですので、すべてのものに概念を入れ込んでいくのはある意味当たり前ですよ。誰一人取り残さないというSDGsの基本理念に沿えばこの市民活動はまさにそうです。協働のビジョンを作る際にSDGsのニュアンスを入れてカラフルな色付けにしたと思いますので、このビジョンをマイナーアップデートということで全部作り変えるのではなくSDGsの理念を書き足して、その理念に沿った形で長岡市の協働のビジョンを描いていますということにしてはどう</p>

<p>事務局</p> <p>会長</p> <p>事務局</p> <p>会長</p> <p>事務局</p>	<p>でしょうか。これを本日の審議会の結論としては。</p> <p>会長のおっしゃるとおり、このビジョンを作った時にSDGsはすごく意識していて、かつSDGsに馴染みがない人たちにもわかり易くという考えでこの形にしましたので、それを入れ込むことは可能かと思えます。そもそも市民活動はSDGsの理念を内包していますから、団体がそこを意識するしないに関わらず、ビジョンに入れ込むことで委員のおっしゃるとおり見える化が図れるかなと考えております。</p> <p>もう一つチャレンジしてほしいのは、未来共創補助金の申請書に「この取り組みはSDGsのどの目標を達成するのに資する活動ですか」という欄を設けていただけないかと。申請団体の皆さんもそこでSDGsについて学んでいただくきっかけにもなり、機運の醸成にもつながるかと思えます。</p> <p>未来共創補助金は、年々マイナーチェンジもしていますのでSDGsを意識したものに目直しをかけられるか検討させてください。すぐにはできるかについても、先ほどのビジョンの見直しと併せて検討したいと思います。</p> <p>よろしくお願いします。年度末の集計時に例えばターゲット9の取り組みが25事業ありましたというような集計もしやすくなりますよね。</p> <p>活発にご意見をいただいてありがとうございました。以上で議事を終了します。以後の進行は、事務局からお願いします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>以上で、令和2年度長岡市市民協働推進審議会を終了します。</p> <p>(閉 会)</p>
<p>(出席委員の署名欄) 省略</p>	
<p>9 会議資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 ウイルスにまけない!～今こそ協働の力で乗り越えよう～ ・資料2 令和2年度未来を創る市民活動応援補助金、新型コロナウイルス感染症にまけない市民活動団体奨励金の実績 ・資料3 新型コロナウイルスに関するアンケート結果 ・資料4 with・after コロナウイルスの時代に～市民活動を全力で応援～ 	